



2018年度 木曾地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2018年10月15日(月) 14:00～16:00

[場所] 木曾森野コミュニティセンター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦
木曾地区町内会・自治会連合会 紅林 里志

○連合会長の挨拶

木曾地区町内会・自治会連合会 会長 竹島 正 (5分)

○市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一 (5分)

○職員の紹介

(5分)

第1部 地域の要望に関する意見交換

1 マンホールの蓋について

【下水道部】 (10分)

2 防災週間における防災訓練の実施について

【防災安全部】 (10分)

3 民生委員について

【地域福祉部】 (10分)

4 町内会・自治会への回覧・掲示依頼について

【市民部】 (10分)

5 まちだ〇ごと大作戦について

【政策経営部】 (10分)

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

(50分)

○閉会の挨拶

閉会挨拶 木曾地区町内会・自治会連合会 副会長 大橋 誠治

(5分)

2018年度 木曾地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2018年10月15日 (月) 14:00～16:00

[場 所] 木曾森野コミュニティセンター

[出席者] 石阪市長

防災安全部長 篠崎

地域福祉部長 神田

下水道部長 大場

政策経営部広報担当部長 若林

市民部忠生市民センター長 皆見

市民部市民協働推進担当部長 平林

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部市民協働推進課(3名)

木曾地区町内会自治会連合会長 ほか30名

司会進行：市民協働推進担当部長

木曾地区町内会・自治会連合会副会長

○地区連合会長の挨拶

皆様、こんにちは。私、今ご紹介いただきました、木曾地区町内会・自治会連合会の会長の〇〇でございます。よろしく申し上げます。今日は本当にお忙しい中、多数の方にお見えいただきまして、まことにありがとうございます。

この市政懇談会は、皆様の日ごろの町田市に対してのご要望、ご意見をまとめまして、石阪市長を初め、市の幹部の方々から直接お答えをいただく場です。非常に貴重なお時間をいただき本当にありがたいと思っています。この懇談会を説明しますと、木曾地区を初めとして、10の地区が町田市にございまして、それぞれ市政懇談会を設けています。特に10月から11月の2カ月にかけて、10地区で懇談会を催している、その1つが木曾地区になるわけです。さらに、11月20日に全部をまとめた懇談会があるということで、都合11回市政懇談会が開催されます。本当に町田市民のいろいろな細かいご要望、ご意見を酌み上げて、担当の幹部の方々からご意見をいただけるというのは非常にありがたいと思っております。

町田市の場合には、皆さんご存じと思うんですけども、市長と語る会というのがございまして、例えば10人とか20人といった小さいグループに対して、石阪市長がそこに赴いて市民の方々のご意見を聞いて、そして市政に反

映していくということで、本当に町田市はすばらしいと思います。こういった細かい部分まで行き届いて市民の声を吸い上げていくということが、町田市は非常によくできていると感心いたします。

あとは中身の問題がございまして、私は疑問を感じるところがあるのですが、けれども、要するに細かい部分の説明がちょっと足りない。そのためにこういった会があるわけですが、やはり専門の皆さんが、それぞれ町田市の行政の中でいろいろと熟考して、こういう形でこのようにやったら市民が喜ぶだろうということで練り上げ、つくり、そして議会を通して決定してやっていく。そういったプロセスを含めて、市民の皆さんにきちんと理解されているのかというと、そこら辺は問題点があります。もっと細かく説明をすれば、なるほどそういうことだったのかということが多々あるのではないかと。中途半端な情報だけが流れてしまって、市は何をやっているのだろうという思いになってしまう。要するに、きちんと説明してご理解をいただければ、なるほどそういうことだったのかと皆さん納得されるのではないかと私は思うのです。

そういった意味でも、こういった機会はとても大事で、皆さんの不満、あるいはご意見、理解ができないところを直接担当の、現場の皆さんの声を聞くということはとても大事なことだろうと思います。こういうものがきちんとなされていけば、町田市ももっとすばらしい町になっていくと思います。

本当に今日は、市長を初め、お忙しい中、幹部の方に来ていただいて、充実した時間を過ごしたいと思っております。今日は1日よろしく願います。

○市長の挨拶（町田市長）

皆さん、こんにちは。市長の石阪でございます。今日は木曽地区の市政懇談会ということで、たくさんの方にお集まりいただき、共催者の1人として御礼を申し上げます。

今、会長からお話がありましたとおり、文章でやりとりしているより、じかにやりとりしたほうがよっぽど理解が早いということもあります。そういう意味で、こういう場は非常に貴重な場であります。これだけたくさんの部長、課長が集まって何かやりとりする機会はそんなにあるわけではないので、有効に使っていただければと思います。ご出席の皆さんを初め、市民の皆さんには日ごろからお世話になっております。改めて御礼を申し上げます。

今日は5つの意見交換のテーマがありますが、その後に第2部として、最近の市政について何件か報告をさせていただきたいと思っております。また、その場でも、皆さんからいろいろご意見をいただければありがたいと思っております。よろしく願います。

○出席者の紹介

第1部 地域の要望に関する意見交換

1 マンホールの蓋について

マンホール蓋デザインのことが広報まちだに出ていました。なぜ、今回デザインを変えることになったのでしょうか。蓋を取り替えるとなるとかなりの費用がかかると思います。そこで、マンホール蓋デザインの蓋交換にかかわる一連の工事を行うにあたり、以下についてお聞きします。

- (1) 汚水・雨水管合わせて、町田市内でマンホールの蓋は何枚ありますか。
- (2) 蓋交換に伴う費用は、1枚あたりいくらですか。
- (3) 現在のマンホール蓋が劣化している所と劣化していない所があります。どういう順番で蓋交換をするのですか。

2 防災週間における防災訓練の実施について

8月26日に忠生第三小学校校庭、体育館で行われた木曽地区連合防災訓練で、数名の女性が体調不良で帰宅されました。体育館の中が35度という猛暑での防災訓練でありました。来年以降も夏場の猛暑が続くとの専門家の意見がある中、防災週間の見直し、および防災訓練実施にあたっての指針を示していただきたいです。

3 民生委員について

民生委員がいない地区があります。1年もの間、民生委員が不在で、高齢者が置き去りにされています。自治会の役員は家の中まで入って調べることができません。民生委員を引き受けてくれる方がいないと聞きますが、このような事態について、市はどのように考えていますか。民生委員の待遇の現状含めお答えください。

4 町内会・自治会への回覧・掲示以来について

市からの回覧物や掲示物が多いです。回覧物は期間が長くても良いですが、掲示物は期間の長い物があると困ります。特に両面印刷の場合は2枚貼るため、場所をとります。警察、消防、社協、シルバー人材センター、高齢者事業団、JKK、工事のお知らせや町内会・自治会からの掲示物もあるため、掲示板がパンクです。市は会長に送り付ければ良いと思っているのですか。中には掲示をしない町内会・自治会もあると聞いていますが、市はどのように考えますか。

5 まちだ〇ごと大作戦について

町田市を盛り上げる行事と考えますが、費用の1/4が自己負担です。また、助成金の支払いが後払いで、使い勝手が悪いです。何のためのまちだ〇ごと大作戦なのでしょう。以下について、お聞きします。

(1) まちだ〇ごと大作戦の目的と予算規模、目標件数を教えてください。

(2) (1)に対し、現段階での達成状況を教えてください。

(3) 費用は全額市が負担してほしいです。それが難しいとしても、せめて、まちだ〇ごと大作戦の看板、のぼり、ポスターは市で負担してほしいです。

(4) 資金の助成が決定した場合は、概算払いをしてほしいです。

【回答】

下水道部長

1

多くの人に下水道への関心を持っていただくきっかけになればと考え、今回、30年ぶりにマンホールふたのデザインを変更することといたしました。

マンホールふたの交換は、これまでと同様、老朽化にあわせて行うこととなり、費用負担が増加することはないと考えております。ご質問については、項目ごとにお答えさせていただきます。

まず、(1) 汚水・雨水管合わせて、町田市内でマンホールのふたは何枚ありますかについてですが、町田市内のマンホールふたは、汚水管のマンホールふたが約5万4,900枚、雨水管のマンホールふたが約1万1,500枚で、合計6万6,400枚あります。

次に、(2) ふた交換に伴う費用は、1枚当たり幾らですかについてですが、その前に、標準的なマンホールの構造について、説明させていただきます。(掲示：構造図面、浦安市写真)

マンホールは、道路面から、ごらんとおり、ふた、それを受ける受け枠(約10cm)、調整リング(15cm)、斜壁(60cm)、直壁(30cm以上)、汚水管もしくは雨水管となります。道路面から管までの深さは、一番浅いマンホールですと1.2mぐらいとなります。なお、下までおりるための足掛金物が斜壁と直壁についております。

マンホールふたの交換作業は、ふたの受け枠と調整リングまでの25cmを、マンホールふたを中心に1.5m四方の2.2㎡、もしくはマンホールふたを中心に1.2mの円を描いた1.1㎡の舗装を砕くブレーカーという機械を使用して掘削していきます。

路面より25cmに達したところで、受け枠とマンホールふたを取り外し、交換を行い、周辺の埋め戻しには、現状と同等の碎石を敷き、タンパという機械で転圧します。1.5m四方の場合は、アスファルトを敷いて転圧し、ふたの交換の完了となり、円形の場合は、モルタルを投入してふたの交換の完了と

なります。作業風景はこのようになります。（掲示：作業風景写真）

この一連の作業を行った場合、1枚当たりのふた交換の費用は、昨年度の実績ですと、30万円程度となります。

最後に、（3）現在のマンホールぶたが劣化しているところと劣化していないところがあります。どういう順番でふた交換をするのですかについてですが、マンホールぶたの交換は、先ほどもお話しいたしましたとおり、基本的には、老朽化したものから交換をしていますし、今後もそのように進めてまいります。

《質疑》

木曾中央町内会

木曾中央町内会の〇〇と申します。いつもお世話になります。ありがとうございます。

大した質問ではないのですが、市道と都道があるわけですか。都道は都がやるわけですか。

下水道部長

東京都が舗装工事をやる際に、あわせてふたの交換をしてもらいます。ただ、費用面ではもちろん市で持つわけですか。よく行われるのは、東京都の道路工事をやる業者さんにあわせてやっていただく形をとってごさいます。

住宅供給公社木曾団地自治会

木曾団地自治会の〇〇です。

マンホールのふたの交換について、基礎というか全体をいじらなくては交換できないのでしょうか。単純に考えると、上ぶただけを交換するというようなイメージがあるのですが、その辺をご説明ください。

下水道部長

やはり老朽化したものからかえていきますと、ふただけではなくて受け枠も腐食してごさいます。そこで、あわせてやったほうが効率的ということでやってごさいます。

住宅供給公社木曾団地自治会

老朽化というと、我々詳しくない者は単純にふたの傷みぐあい、すり減ったというイメージしか湧かないのですが、老朽化というのは全体の基礎の部分の老朽が最大の理由になるのでしょうか。ふたは二番手になるのでしょうか。

下水道部長

やはり、さびが一番ございます。ここなどを見ていただきますと、さびが来ていますし、耐用年数が大体30年で、耐用年数を超えている部分もあるのですが、なかなか費用がかかるということも考えて、30年を過ぎてきますと、かなり傷んでいるという状況がございます。一番は腐食がございます。

住宅供給公社木曽団地自治会

今現在そういった対象になる箇所は何カ所ぐらいあるのでしょうか。

下水道部長

年数で言いますと40年前ぐらいのとか、全体の枚数ではないですが、すごく古いものが15%ぐらい残ってございます。まずは、そこを大至急かえていかなければいけないと思っていますところです。

住宅供給公社木曽団地自治会

単純に耐用年数でパーセントを出しているのでしょうか。実際の傷みぐあいという鑑みはないのでしょうか。

下水道部長

もちろん古いのを意識しながら点検はしていますが、その中でも腐食度合い、老朽化が進んでいるものから優先順位を決めてかえてございます。

住宅供給公社木曽団地自治会

今、実際に正確な数字はお手元にないということでしょうか。

下水道部長

申しわけございません。ここには持ってきてございません。今持っている古い順のデータは、一番古い2つのタイプ、コンクリートぶた、平受けのぶたがまだ15%ぐらい残っているということです。

住宅供給公社木曽団地自治会

1つ30万円かかるというお話ですので、全体を見ますと6万6,000何枚になります。これは何年かかりでやるかわかりませんが、相当な市の財政が必要かと思えます。これを市民の税金と国の借り入れとか、市長から冊子のご説明を毎年受けているのでわかるのですが、債務がまた膨らむのではないかと考えております。その辺慎重に検討していただければと思っております。

(司会) 地区町内会・自治会連合会副会長

私は、いらなくなったマンホールを取り外す現場を見ました。どのくらい時間がかかるか見ていたところ、朝6時から仕事が始まって、昼食で1時間休んで、午後3時ごろまでかかりました。マンホールのふたを取りかえるのは、お鍋のふたを取りかえるようにはいかないのです。市議会議員の方の質問の中に、マンホールのふたはたかが直径60cmにすぎませんと書いてあるのですけれども、お鍋のふたを取りかえるのと違って、マンホールのふたを取りかえるには、まず10cmぐらいの深さになるようなカッターでアスファルトを切らなければならないのです。その後に、今度はユンボと違ってかくもので碎石を取り除きます。アスファルトを捨てる場所と碎石を置く場所は違いますから別の車に積みます。碎石を取った後に、今度は砂が出てきます。砂は砂でまた別の車に積みます。要らなくなったマンホールを掘り出すのに1mぐらいの深さまで掘ります。マンホールを取っても、またその土を戻さなければなりません。やたらに戻すわけにいかない。砂地から戻してたたくわけです。その後に碎石を戻して、またたたくわけです。アスファルトが10cmぐらいとしたら、碎石も10cmぐらいまでたたくわけです。それから棒材を入れて、ローラーをかけると、朝9時から午後3時ごろまでかかります。それをやるには工事人だけではないのです。通行止めをしているからガードマンも必要になってきます。それでも1カ所は30万円ぐらいでしょうか。

下水道部長

今言っていたのですが、ガードマンは絶対につけなければいけません。よくご存じで、アスファルトの処分と碎石はまた別のところへ持っていくというもろもろもございまして、平均すると30万円ぐらいかかるということです。

住宅供給公社木曾団地自治会

今、〇〇さんから必要でなくなったところの工事という話でした。取りかえるとなると、また次の工程があるわけです。今埋めるという話だったと思います。ふたを交換するとなると、新しいコンクリートでできたつぼのようなものにふたを入れる。材料費とか、いろいろ加算されると思うのです。

下水道部長

私の説明が悪かったのかもしれませんが、ここを見ていただきますと、深さは調整リングが15cm、ふたが10cm、この25cm分を取りかえるわけです。

住宅供給公社木曾団地自治会

25cmの部分で30万円かかると。その基礎工事のような、今のお話の砂利、

碎石はないわけですか。

下水道部長

ここを余分に掘るわけです。1.5m、ここの間の舗装はやります。碎石をやってアスファルトをやります。先ほど言ったのは撤去するほうで、碎石を出したり、削った舗装を処分する費用もかかるということです。それを全部合わせて30万円です。

住宅供給公社木曽団地自治会

20何cmの部分のふただけだとそんなにかからないわけですか。

下水道部長

ふただけですと、受け枠とふたで約6万から7万円です。

住宅供給公社木曽団地自治会

その6万円のお話を今初めて出していただいた。冒頭から30万円とあったので、これはすごいことになるなと皆さん判断したと思います。私だけではないと思います。

下水道部長

ふたは材料代で、あとは作業です。碎石とか舗装の材料費、施工費も全部合わせて30万円ぐらいかかるということです。

【回答】

防災安全部長

2

初めに、8月26日に実施されました木曽地区連合防災訓練で、体調不良となられました方々には、心からお見舞い申し上げます。

夏に防災訓練を行うことは、熱中症の危険性が高いということを、市としても十分認識しております。

そのため、市では、6月30日と7月1日に実施した、自主防災組織の役員等を対象とした自主防災組織新任班長講習会において、この時期に実施する防災訓練では、熱中症に十分注意していただくようお願い申し上げます。

しかしながら、こうした事態が起きてしまったということは、お知らせが不十分であったと思われるので、今後は、今回の件などを事例に挙げ、再度注意を徹底してまいりたいと考えております。

次に、「防災週間」の見直しについてですが、「防災週間」は、政府、地方公共団体など関係諸機関はもとより、広く国民の1人1人が台風、高潮、

地震などの災害について、認識を深め、これに対処する心構えを準備することを目的として、関東大震災の起こった9月1日の「防災の日」を含む1週間を対象に、国が定めております。

国は、この「防災週間」において、地域の実情に応じ、より実践的な防災訓練などを実施するものとして、関係公共機関、地方公共団体及びその他関係団体等に対して、防災活動を推進するよう要請しております。こうしたことから、町田市も国からの要請に基づき、毎年8月の最終日曜日に総合防災訓練を実施しております。

「防災週間」につきましては、国が定めているため、町田市単独での見直しはできないことをご理解いただければと思います。

次に、防災訓練の実施についてですが、町田市では国からの要請を受けて、「防災週間」中における地域が主体となって実施される防災訓練について、ご案内いたしております。

町田市は、「防災週間」中に限らず、地域の皆様が実施される訓練に対して、地域の消防団員や市職員を講師として派遣するなどお手伝いを行っております。

引き続き、地域における防災訓練に対して積極的にお手伝いいたしますので、訓練実施の際は、窓口である防災課までご相談いただければと思います。

《質疑》

木曾南自治会

木曾南自治会の〇〇と申します。いつもお世話になっております。

実はここに書き切れないので補足して、現状をお伝えしなければいけないと思うのが、私は子どもが3人いるのですが、みんな大学生以上で、今のプールとか体育館でどうこうというのは特に問題はないのです。ただ、自治会長をやっているのと木曾境川小学校で地域支援理事をやっているのも、現状の小学校の運営状況の情報等が入ってくるので、それを参考にして考えると、今回の防災訓練は非常に危険なことをやってしまったと反省しているということを、木曾地区でも一部の会長さんが集まったときに話をした経緯があります。

例えば、体育館に入っていい温度は35度以下になるそうです。35度と書いてあるのですがけれども、実は私の腕時計のG-SHOCKでは37度を指していました。私は慌てて会長のところへ行って、これはやばいよ、誰か倒れてからでは遅いから何か対応しなければと言って自主的にやったのです。でも、当日は消防団の方はいるし、町田市の忠生出張所の消防署長もいたと思うのですがけれども、その方たちからはそういうアドバイスは一切なかったのです。当然町田市の行事ではあるのだけれども、地域でやっているからペットボトルの水の配給とかは行っていません。各自でやっているという状況になって

いるのです。

正直に言うと、私より高齢の人生の先輩方というのは、気合と根性で育ったところもあるので我慢できてしまうのです。実際、うちの自治会でも80代の方とかが参加しているのですけれども、大丈夫、大丈夫と言うのです。でも、見る見る顔色が変わっていくのがわかるから、こちらに移動と言って、しまいにはうちの自治会だけではまずいから、よその自治会の人も顔色を見て、私は自主的に椅子とかを出して、やるからねと言ってどかしたのです。消防団の人とかが動いたのはその後です。これはどうなのかということが実は問題です。何もそんな暑い日にやらなくてもいいのではないかと、国の行事を無理やり変えてくれとかではなくて、現状のことを知っていただいて、運用を変えたほうがいいのではないかとということで、この話になっているという補足説明です。

防災安全部長

ありがとうございます。そういう情報もぜひいただきたいところです。今、消防団員とか忠生出張所からは事が起きてからではないと声をかけなかったということもありますので、そういうのは間違いなくお伝えしたいと思います。あと、飲料水は市でも備蓄しているペットボトルがございます。その年に期限切れを迎えるものを、例えば市の防災訓練のメイン会場でお配りしたり、普段の地域の給食給水訓練の際にもご提供したりして、熱中症にならないようにご利用いただいたのですが、そういったものであれば対応できるので、戻って数量の確認などしたいと思います。訓練実施に当たりましては、恐らく避難施設関係者連絡会、私ども職員も入ったところでお話をしながら計画をされるのだと思います。そういうところでも現状を遠慮せずにお伝えいただいて、私はここでしゃべっていますけれども、実際に皆様と現場でやりとりをするのは担当になりますので、遠慮しないで結構ですので、ぜひこういうご意見もお伝えいただきたい。安全な中で、これからも防災訓練の実施をお願いしたいと思います。

住宅供給公社木曽団地自治会

たびたび恐縮です。防災週間は8月の最後の日曜日というお話でした。これは、関東大震災を国が基準としているという経緯の説明がありました。現世において、関東大震災をどの程度の人が認知しているかということを考えますと、大分世代交代がありました。この辺も現代の震災で大きいのが4つぐらいありました。それを検討していただいて、今の世代に合うようにしていただくと、防災訓練ももっと認知度が高くなって、好感を呼んで参加率も上がるのではないかと思いますので、ご検討していただきたいと思います。

8月は暑いのももちろんですが、夏休み中ということで、まだ帰省中のお

子さんたちも家庭もあると思います。また、地域によっては夏祭りの最終週に当たるところもあると思います。実際、私のところもそれに当たって苦慮しているのですが、その辺を1つ考えていただければと思います。

防災安全部長

まずは、関東大震災のお話の関係ですが、私もこの仕事を随分長くやっています、例えば、私が最初に担当したときには関東大震災のことばかり言っていたのですが、数年すると、1月の寒い早朝に阪神・淡路大震災がありました。そこから、いろいろな季節、いろいろな時間帯に地震が起きるということをしっかり伝えなければならないこと、熱心にやられている地域の皆様からご意見いただきましたし、私どももそういう話をしてきているつもりです。そういったご意見をいただきましたので、改めてしっかりお伝えしていきたいと思います。

訓練の実施についても、いろいろな季節に地震災害の可能性があるということを含めまして、地域の実情に応じて、1年を通して一番やりやすい時期に訓練実施をお願いするのも必要だろうと思います。実際に地域によっては、かなり規模の大きいどこそこ地区総合防災訓練という形で秋に実施しているところもございまして、市の消防も一緒になって支援してやっております。また、この地区の連合としましても、もしそういう提案がありましたら、ご相談いただければ実施可能だと思います。よろしくお願いいたします。

【回答】

地域福祉部長

3

初めに、民生委員の皆様には、ボランティアとして地域の皆様の相談相手、行政をつなぐパイプ役という重責を担っていただき大変感謝しているところでございます。また、町内会・自治会の皆様におかれましては民生委員の活動を支えていただいたり、時にはご推薦いただいたりと、ご理解、ご協力を賜り、この場をおかりして御礼申し上げます。

ご指摘のとおり、木曾地区では、22地域中4地域で欠員となっております。高齢化が進む中、民生委員のなり手が見つかりにくい状況が続いており、このことは町田市だけでなく全国的な課題となっております。

東京都では検討委員会が設置され、民生委員の負担軽減に向けての協議が進められております。町田市では、市内の有識者から成る民生委員推薦会を設け、民生委員の確保に努めているところでございます。

また、ご質問の民生委員の待遇についてですが、民生委員は厚生労働大臣から委嘱された「無報酬のボランティア」として従事いただいております。ただ、活動には交通費や事務費など必要経費がかかりますので、東京都から

月額一律8,600円の活動費が支給されている状況でございます。

町田市といたしましては、今後も欠員解消を図るとともに、日ごろから地域活動にご尽力いただいている民生委員の皆様が、より活動しやすい環境を整えるために、お互いに情報交換を行い、必要なサポートをまいります。

《質疑》

忠生第2民生委員児童委員協議会

今、忠生第2民児協は定員が30名ですけれども、今現在8名の欠員です。一番欠員が多いのは山崎団地さん、境川団地さん、木曾森野地区で合わせて8名ですが、私たちも推薦委員会で各自治会の会長さん、学校関係の皆さん、支援センター、ボランティアセンターさんにお伺いしてお願いしたり、推薦委員が訪問してお願いしたりしていますが、常勤のお仕事をしていて1日ずっと働いていらっしゃる方もいますし、親御さんの介護をされている方たちです。やはり、民生委員は大変だということで、なかなかお引き受けしていただけないのが現状です。まずは、推薦委員で皆様のところをお願いに行くかもしれませんけれども、そのときにはぜひいい方をご紹介していただければと思っております。

私たちも学校だとか、そういった地域のところにお伺いして民生委員のPRをさせていただいております。私が民生委員になったころは20年前ですけれども、民生委員はあまり目立ってはいけないという風潮だったのです。そのころは民生委員さんと話をしていたら生活保護というのがイコールだったのです。私もそういうことを先輩たちから言われまして、お外で会っても目で挨拶をして、後でお伺いしますというニュアンスでずっとかかわってきたのが現状だったのです。でも、今は民生委員制度ができて100周年を迎えました。それで民生委員はアピールをしてください、PRをしてくださいと変わってきてまして、私たちはいろいろなところのイベントに行っ、仕事の内容とか、赤ちゃんから妊婦さん、高齢者の方、お墓に行くまでが私たちの仕事だということを皆さんにお伝えさせていただいております。妊婦さんのお腹にいるときから保健所さんと一緒に動いたり、精神が安定するように寄り添ったり、確かに仕事としては大変かと思えます。でも、やりがいがあるという方も大勢いらっしゃいます。

人生苦もあれば楽もあるとよく言われますけれども、本当に私たちもそういう気持ちで、地域の皆さんが一日も楽しく暮らしていければいいと思っております。お手伝いをさせていただいております。本当は木曾森野地区には3名必要ですけれども、今は1名です。もし何かあれば、証明だとかすぐ行っていただきたいところには、近くの地域の民生委員に飛んでいってもらっているというのが実情です。一日も早く8名の方が確保でき、全30名で活動ができればと思っております。皆さんの地域にはご迷惑をかけているかと思っております。

ども、ぜひ皆さんに民生委員のなり手をご紹介していただければと思います。ありがとうございます。よろしく申し上げます。

住宅供給公社木曾団地自治会

民生委員さんのお仕事を簡単にどのようなものかお話ししていただきたいと思います。それを伺った後で、またお話しさせていただきます。

地域福祉部長

主には、先ほど会長にもお話しいただいたとおり、その地域の中の生活保護の方、高齢者の方、身体障害の方、時には赤ちゃん、お子さんの相談相手になっていただく、訪問して話を聞いていただくというのが主な仕事になります。そのほか、市からもいろいろお願い事項がありまして、お便りを配ってください、お祝い金を届けてください、あと保健所のほうで、健診に來ていないお子様がいるので訪問してくださいというオーダーも入ります。そのほか、民生委員さん同士で情報交換をするために、月平均して2回程度会議で集まっていただいて、いろいろ情報交換をしております。

住宅供給公社木曾団地自治会

世代交代で若い方が順応していかないと続いていかないと。今は自治会もそうですけれども、役員さんとか、お仕事の無い時間をある程度割ける方になると、高齢者、70歳以上の方も多々あるわけです。そういう現状を見ますと、やはり若い人を育成していくということから、民生委員となるとプライバシーに立ち入ったりします。そのときに、誰かいないかということも必要だと思いますが、それは概念であって、少し考え直して委託業者をつくって、それとともに地域の方も一緒に回るとか、コラボレーションとか、民生委員というとかたく考えてしまいますのでなじみやすく、もう少しやわらかい考えでやっていけたらいいと思います。それから、今お話しを聞きますと、厚生労働省の委嘱で無報酬のボランティアということですが、自治会も会員さん募集で伺いますと、まずにメリットは何だと言います。答えを用意していかないと話ができないわけです。民生委員さんについても、やはり今伺っている範囲ですと大変な作業かどうかはええ。これを何とか無償ではなくて有償に考えをつけていったらいいのではないかと思います。

地域福祉部長

いろいろご意見いただいてありがとうございます。手短にお話しいたします。東京都で民生委員の要件が決まっています、初めて民生委員になれるのが67歳より若い方で、仕事についていない方、当該地区にお住まいの方という条件がございまして、今67歳という現役の世代になりますから、そこ

だけでもなかなかハードルが高いといった状況であります。今、委託業者ということでヒントをいただきました。これは研究材料にしますが、まず地域の相談先の窓口ということで、第1の扉というのもおかしいですけれども、できたら地域にお住まいの方で設定していきたいと思っております。あと、費用ですが、ボランティアという話をしましたが、国も費用の改定については要望を受けて今検討しているようなので、若干上がるかもしれませんが、そのあたりは様子を見ていきたいと思っております。

【回答】

市民協働推進担当部長

4

回覧・掲示物は「広報まちだ」や町田市ホームページなどの情報発信に加えて、直接、地域の皆様方に情報を届けられる手段として重要なものであると考えております。現在は月に2回、1日と15日に町内会・自治会へ発送しております。地域の皆様には、回覧・掲示物の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

回覧・掲示物の送付件数が多く町内会・自治会の負担になっていることも認識しております。

市としては、皆様からいただいた声をもとに送付件数の削減に向けて、まず、1度に送付する件数の見直しを行いました。その結果、昨年度より回覧・掲示物合わせて12件、割合にして約12%の減少となりました。そのほかにも、掲示予定だったものを回覧に切りかえるなどの負担軽減に向けた取り組みも実施しております。

また、警察や消防などの外部機関に対しては、皆様からいただいた声を伝え、どのように回覧・掲示物の送付件数を削減できるか、ともに検討を進めてまいります。

なお、掲示期間については、掲示板のスペースに限りがありますので、イベントなどの開催期間にかかわらず、各町内会・自治会のご判断にお任せしております。

今後も、地域の皆様とよりよい回覧・掲示物のあり方を模索してまいりますと存じます。引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

《質疑》

(司会) 地区町内会・自治会連合会副会長

掲示物については、10月20日から12月24日までの掲示物が来ているわけです。これが両面なので2枚貼らなければならない、掲示板が足らなくなってしまう。回覧板は回せばいいので部数が多くても結構です。私は安否確認の

ために、うちの自治会では回覧板をどんどん回しています。必ず見た日にちと判を押して、手渡しでなければ回覧はしてはいけないとしております。留守のうちは飛ばして、最終的に必ず見たものが私のところに戻ってきます。やはり、安否確認のために回覧はいいのですけれども、掲示物の多さにはどここの町会でも——聞くところによると、掲示とか回覧を有料でお願いしてやっている町会があるそうですが、その辺のことについて部長さんにお伺いしたいと思います。

市民協働推進担当部長

有料で掲示依頼をされているということは市民協働推進課でもお聞きしていないので、それはまた確認をさせていただきたいと思います。それから、市役所の刊行物は全てコスト削減ということで、なるべく両面刷りに、ポスターもチラシも同じでないと、チラシをつくって、さらにポスターをつくるとなると、またお金がかかるということで、皆さんからお預かりした税金を上手に使うために、なるべくお金は使わないようにしておりますので、その点をご了解いただきたいと思います。市民協働推進課の事務室の中にも一般的な大きさの掲示板をつくって、そこに今こういうものを市から送って掲示しているということを把握して研究しているところです。両面刷りについては、各部でいろいろ事業を行っているところが出していますので、そういうところとも話し合いをして検討していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

木曾南自治会

木曾南自治会の〇〇です。いつもお世話になってます。

両面でも困らないものと困るものがあります。例えば、防災マップをいただいても両面で来られると貼れないのです。せっかくいいのが両面に書いてあるのに、1枚しかくれないのです。だから、どうすればいいのというのは貼る側になるとわかるというか、ただコスト削減もわかるので、やったよということだったら省いてもらってもいいのかとも思うのです。実用的ではないことは結局無駄になると思うのでご検討を、特に防災マップとか洪水マップは両面にしないでいただきたい。お願いできたらと思います。

市民協働推進担当部長

ありがとうございます。各部の取り組みでいろいろなものをつくっています。防災に関しても、防災訓練の説明会、班長講習会、そういう場でも説明できるものはなるべく回覧とか掲示を省くということも、これから各部と検討していきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

木曾中央町内会

今、市民協働推進課からお話があったのですが、月に1日と15日と言ったけれども、そんなにはっきりやっているかなと非常に疑問です。市民協働推進課は我々の町内会・自治会に対しての窓口だと思います。いろいろ部隊があります。そこで情報をまとめるのに私も会社のときによくあったのですけれども、支店が北海道から福岡までありまして、各部から要望を各支店に出すわけです。支店長がどれが一番メインにしてやったらいいか困ってしまうわけです。そのときに、あなたたちのような部隊がプライオリティー、いわゆる優先順位、何が必要か決めたわけです。そのためにはもっと力を入れて、担当部長さん、自分たちの意見をもっと言って、それによってみんなが情報を得て動くわけです。確かに市から来る掲示物は8割ぐらい2カ月、3カ月先だと思うのです。あと、私たちの催しや、お祭り等ありますから貼れないときがあるわけです。

市から来て貼らなければいけないものが、今回、台風があつて2日ぐらいでみんな飛んでしまったのです。これで俺たちのお祭りを貼る場所ができた。次に来て、また飛んでしまったりして、こういうことは私も恥ずかしいけれども、市長も恥ずかしいと思います。だから、もう少し権限を持って、自分たちのところでまとめて、窓口だから、おまえたちやめろよ、注意しろよと、そのぐらいの権限を持って、2カ月、3カ月先のものを貼ってられないのです。申しわけないけれども、今回も赤い羽根は我々やってから貼りませんでした。でかくて貼り切れないのです。これは自分の判断でやっています。本来ならば、市民協働推進課でプライオリティーを決めてやっていただきたいと思います。期限もそうです。もっと力を持ってください。苦勞するのは我々ですから、見向きもされなくなったらその部隊は要らないということになるわけです。よろしくお願いします。

住宅供給公社木曾団地自治会

いろいろチラシを貼ってくださいと届きますけれども、特に国際版画美術館がまめに届くわけですが、実際問題として広告によって入場者がどれぐらいあるのか。内容にもよるのでしょうけれども、その辺をお伺いしたいです。

市民協働推進担当部長

詳しい内容は、国際版画美術館担当でない入場者数までは私ども把握しておりませんが、掲示をしたりチラシを配ったりすることで、いろいろな方の目に触れることが大事ということで、入場していただくことが多いと聞いています。市民協働推進課にもたまに、他の地区の掲示板には国際版画美術館のチラシが貼ってあったけれども、何でうちに貼っていないのと、逆に何で情報を教えてくれないのかという苦情も入ることがあります。今、

四苦八苦といたしますか、先ほどご意見をいただきましたけれども、市民協働推進課が力を入れてこれはだめ、これはいいと言っているときもあるのですが、なかなかあまり強く言えない。各部でチラシ、また掲示板を待っている方もたくさんいらっしゃいますので、その選別については、これからまたいろいろと研究していきたいと思っています。

住宅供給公社木曽団地自治会

地域によって掲示板の大きさがまちまちであると思います。そういった形は把握されているのでしょうか。

市民協働推進担当部長

補助金をお出ししていますので、申請のときにきちんと大きさ、寸法は全部把握しております。設置場所も台帳で調べてあります。

住宅供給公社木曽団地自治会

補助金を出していただいているということですが、それは町内会・自治会の一戸建ての世界だと必要かもしれませんけれども、我々団地のものとありますと、大家さんの掲示板があります。それを活用しているのですが、補助金をいただいて、新しく建てようという気がまだ起こらないので、現状半々ずつ使うという約束で行っておりますけれども、ちょっと苦勞しております。

【回答】

広報担当部長

5－（１）

まちだ〇ごと大作戦の目的は、市民・地域団体・企業などの多様な主体が、みずから「やってみたい夢」の実現に向けた取り組みを、賛同者の知恵や応援を得て、地域の結びつきをより強めながら実施し、次の世代に引き継がれる「新しい価値」をつくり出すとともに、市民活動・地域活動を盛り上げていくことです。また、市内のさまざまな地域で展開される取り組みや盛り上がるの様子を継続的に市内外にプロモーションすることで、「まちへの愛着・誇り」と「町田市への関心・憧れ」を醸成し、「住み続けたいまち」、「訪れたいまち」、「住みたいまち」となり、選ばれる都市を目指しています。

また、2018年度の予算は、「やってみたい夢」の実現に向けた広報や助成金等の支援を行う、まちだ〇ごと大作戦実行委員会への負担金として、2,950万円を計上しています。

なお、2020年度までの目標件数は、300件としています。

5－（２）

2018年9月末現在の達成状況は、75件です。

5 - (3)

まちだ〇ごと大作戦では、提案いただいた事業を3年間限定で実施するのではなく、2020年以降も継続的に実施していただきたいと考えております。そのため、費用の全額を助成せずに自主財源の確保をお願いすることで、提案事業の自立と継続性につながることを期待しています。

なお、2018年8月から、実行委員会でPR用ののぼり旗を作成し、提案事業の実施時には、のぼりをご活用いただくようお願いしています。

5 - (4)

資金助成は原則、事業実施後となります。ただし、助成金交付申請額が20万円以上の事業につきましては、交付申請額の2分の1の額を上限に事前に支払うことができます。

《質疑》

木曽南自治会

木曽南自治会が主で9月2日にまちだ〇ごと大作戦に応募させていただいたのですが、いろいろ詰めていく段階でわかったことを市長がいる中で伝えたいと思っています。自治会というのは、町田市の下請だと各自治会長さんから聞くことが結構多くて、さっきの回覧板にしてもそうですけれども、そうではなくて市民が主なのだと私は今でも思っていて、やはり自分たちの住んでいる町は自分たちでつくっていくと思っています。その中で、1人ではできないので、みんなのお金を集めて町田市がまとめてやってくれていることもあるのだということも理解しています。

木曽地区に限って言うと、65歳以上の世帯が30%から35%にいくエリアが非常に増えています。それから、生活保護、母子家庭世帯もある特定の地域において増えています。その現状を踏まえたときに、例えば高ヶ坂・成瀬地区、鶴川地区、相原地区、各地区によっても特徴があることも、私もいろいろな自治会長さんと市連の研修旅行へ行ったり、この間も市民協働推進課長さんも一緒に地区協議会で総務省に行ったりしながら、いろいろな会話をし情報交換をした中でわかってきたのです。この木曽地区は民生児童委員が8名欠員しているということが、数字だけではなくて現状的に問題点になっているといったときに、どうやって木曽地区を盛り上げたらいいのかが主体で、まちだ〇ごと大作戦にエントリーしていることをお伝えしたいのです。ただ単にお金を集めて、まちだ〇ごと大作戦で旗振ってやったぞというのではなくて、地区の問題点がこういうふうにあると、そこがスタートでまちだ〇ごと大作戦という新しい企画に乗っかって、木曽地区が盛り上がったらいなと思ったのです。木曽地区は17地区町内会・自治会になっていますけれども、皆さんに言うと話が点々点になるところもあるので、補助金の申請だ何だ、補助金ではなくても申請書があるので、そういうのでさえも抵抗のあ

る方もいらっしゃるなので、まずは木曾南自治会で私が旗振ってやってみようということでやりました。

なおかつ、今は消防団のなり手がいないという問題も聞いています。なので、水かけ祭りと呼称して、木曾南自治会の有する道路を封鎖して、警察の許可もとって準備して、消防車の放水訓練をして、集まった人たちで水鉄砲なり、バケツを持ってきて水かけをやろうと。実は大雨が降ってしまって中止になったのですけれども、今ホームページに取材の形で載っているの、よかったです皆さんにぜひ見ていただきたいと思います。

単に行事を増やすとかではなくて、地区ごとに問題点があって、それを解決していかないと恐らくやっただけになってしまう。さっきの回覧の件も、広報の件も、何かのイベントについてもそうだとお話を申し上げたい。新しいことをやるにはどうしてもお金がかかってしまう。当然準備の時間がかかるので、私は4分の1ではなく初年度は全額負担にしてほしいと思いました。今回、私が会長を兼ねている青少年健全育成忠生第六地区を主体にして、11月3日にイベントで子どもたちの夢を応援するプロジェクトと題して、まちだ〇ごと大作戦にエントリーして、25日の実行委員の審査にのるということで、審査が長いスパンであるようなのでなかなか審査がおりていない。でも、見切り発車でやっていたよということで、スタートして今やっています。予算はゼロです。旗だけ貸してくださいという状態です。おかげさまでTSUTAYAさんの町田木曾店がコラボレーションしてくれて、企業も巻き込んで一緒に地域を盛り上げるということでやっています。お金はかからないのですけれども、今度は町田市で木曾地区はこんなにおもしろいことをやっているとPRしてほしい。そうすると、若い人たちが住んだり、民生児童委員のなり手が増えたり、いろいろな問題解決にいけると私は考えていて、木曾地区を盛り上げるためにまちだ〇ごと大作戦を使っているということを石阪市長に申し伝えたいと思ってお話しさせてもらったのです。

そういった地域の特性を生かしてやろうとしているので、4分の1ではなく初年度は全額負担、または最低限5万円ぐらいは出していただいで、私たち実行部隊は別としても、ガードマンとか、お手伝いしてくれた人、ボランティアでやってくれる方には出せるとか、何かしないと集まらないのです。お金が欲しくてやっているのではないのですけれども、何のお礼もできないのです。お茶の1つも出せないのです、その辺も踏まえて、現実的に運用できるような新しい取り組みをぜひ考えていただけたらと思って挙げさせていただきました。

広報担当部長

まちだ〇ごと大作戦についても、今年1月1日から始まっています、まだまだ進行形です。そういった意味では、今のようなご意見を賜りながら、

それを反映できる方法も考えていきたいと思いますので、また引き続きよろしくお願ひいたします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、第2部ということです。情報提供程度で終わってしまうかもしれませんが、お知らせをさせていただきます。

本日いろいろ資料が出ているので、それを言わないといけないかと思っています。大きい順に行きますと、これから10年先ぐらいまでの公共施設の話がありまして、中を見ていただくとピンクと水色で、細かい字で書いてありますが、興味のあるところだけはちらっと見ていただければと思います。例えば公共施設で難しいのは、今エアコンディショナーが動いています。昔からこれだけの音がしていたかどうか、あるいは今の時代のエアコンディショナーはこれだけの音はしないはずなので、機械が古いのです。では、すぐ取りかえられるか、実は公共施設がどんどん古くなっているのだからこういうことはよく起こるのでありまして、ここではそういう問題をどうしようかということが書いてあります。

次のピンクの資料は情報満載の両面刷りですけれども、裏にあるのは防災行政無線のフリーダイヤルの番号が0800-800-5181で、防災行政無線が何か言っているなどと思ったらここへ電話していただくということと、上には「広報まちだ」がどこに置いてあるか場所が書いてあります。例えば、忠生地区であれば木曾山崎コミュニティセンター、木曾森野コミュニティセンター、三和木曾店と書いてあります。もちろん駅にも置いてあります。

その次は今話題のまちだ〇ごと大作戦であります。まずは大作戦に応募いただき、企画、実行していただいていることに感謝を申し上げたいと思います。資料紹介のついでにお話をさせていただきます。実はまちだ〇ごと大作戦の精神というのは、地域でいろいろなやりたいことを自主的に考えてやっってくださいということです。それが一番で、もっと言うと、2018年というのは、町田市ができた1958年から数えて60周年です。一昨年ぐらいは60周年の式典だとか大きなイベントをやるという話もあったのですが、町田市の真ん中で大きな式典をやってうれしい人はそんなにいないだろう。市長はうれしいかもしれないけれども、やめようということにして、それぞれの10地域で60周年のお祭りをやっってください。そんな急に60周年と言われたってできないから、60周年とラグビーワールドカップとオリンピックの3年の間に、それぞれの地域でお祭りをやってもらおう。それも広報、宣伝をすることと若干の補助金を出す。一番大きいのは、規制緩和とか会場提供です。この調整を役所で頑張りましょうという話を決めました。

したがって、今年は60周年の式典も何もやっていないです。ほかの町、三鷹市、小金井市はみんな60周年をやっているのですが、うちはやっていない。そういう事情でそれぞれの地域でお祝いをしてくださいということでやっているのが、このまちだ〇ごと大作戦であります。もう1つは、この3年でやった経験で同じ仕事を継続してもいいし、発展させてやってもいいから、2021年以降もなるべく続けてくださいということもお話しさせていただいています。いずれにしても、地域みんなが結束して、協力して、地域の発展に何かやろうという1つのきっかけ、顔見知りになるきっかけにさせていただければいいなという思いでやらせていただいています。

資料の最後は、『平成29年度（2017年度）町田市課別・事業別行政評価シートダイジェスト』です。課別・事業別行政評価シートについては236事業あるのですが、今回は14事業をここに表示しています。

3点だけ紹介します。3ページまでは解説です。4ページ、5ページの学童保育事業について、収入とコストがどうなっているかを表示しています。特に、5ページに円グラフで色分けしてありまして、学童保育クラブの場合は1年間に1人当たり36万円、月3万円かかるのです。どういうふうに分担しているかというと、国と東京都の支出金、赤いところが3分の1、35%、町田市税その他が約50%、半分、残りの全体の6分の1がお父さん、お母さんの負担になっています。年間6万1000円ですから、月額5000円となっています。そのようにして運営されているのが学童保育クラブです。

8ページ、9ページには保育所があります。民間の保育所があちらこちらにありますけれども、民間の保育所の運営についても、国と東京都と町田市がお金を出して保護者から負担をいただいています。色分けになっていて、赤いのが東京都と国の負担で50%です。学童保育クラブと違ってちょっと高くて、1人当たり年間約184万円、月額で15万3000円です。その負担の半分は国と東京都、残りの3分の2が町田市、保護者の負担は13%、大体7分の1で月額2万円です。1人15万円かかって、そのうち保護者が出しているのが2万円、残りの13万円が税金、このような負担割合で保育所は運営されていることがわかります。

事例の最後は市営住宅です。30、31ページに市営住宅がありまして、財源構成、負担割合は都営も大体似たり寄ったりです。31ページに円グラフがありまして、1戸当たりのコストは年間74万3000円、月額6万円となっています。どうやって運営されているかというと半分が税金です。市営の場合は国、都からお金が出ていませんが、都営の場合は緑のところは東京都です。家賃は半分ぐらいがお住まいの方の負担になっています。民間の住宅の場合には、例えば家賃が運営費の1.2倍とか、ここと言えば6万円かかっていますので、7万円か8万円ぐらいが家賃というのが一般的かと思います。ただ、実際には家賃が3万円弱で運営されているわけです。残りは税金でやっている。都

営も含めて大体こんな感じになっています。

最後にふるさと納税の話です。ふるさと納税は、私から言わせると、基本的小金持ちが得する制度のようであります。他の市に寄附をして、そこから牛肉とかお魚をゲットしようと、何か国がやっているインターネット通販のような気がします。まとまった額の税金を納めている人は結構お金持ちなので、そちらの人だけ得するのではなくて、外では言わないのですが、本当を言うとやめてほしいと思います。32ページにありますとおり、町田市の財政にとっても非常にマイナスになっていまして、このグラフの2018年度のところを見ていただくと、黄色の6億8000万円が他の市町村に市民が寄附しており、6億2000万円が赤字額となる見込みです。他から来ている額が幾らかというと、町田市民も含めて6000万円の寄附を受けて、市民が他の市町村に出しているのが6億8000万円であり、ひどい話です。うちの市は裕福ではないにもかかわらず、6億円以上も財政に穴があいているという状況で、国の制度なので早くやめてほしいと事あるごとに言おうかと思っているのです。でも、町田市はふるさと納税について、なるべく市政に参加するという趣旨で、返礼品目的ではなくて寄附としてやっていただきたい。表紙にある大型映像装置は4億円かかったのですけれども、このうちの2000万円は皆さんから寄附をいただいたものです。要するに、税金を払うのだけれども、何に使ってほしいと指定をするという趣旨で使っていただければいいかと思います。もちろん、成瀬ギョーザとか若干返礼品もありますけれども、本当はふるさと納税については、こういう政策にお金を使ってくれというので寄附をいただくのが一番いいかと考えております。後ろにも「町田市立国際版画美術館に『歌麿』を呼ぼう！」とか、いろいろやっていますので、決して外の町や村に寄附をしないようによろしくお願いします。

モノレールですが、2032年目標にしました。俺の目の黒いうちとか、いろいろも言っているのですけれども、2032年まで頑張ってください。14年後になります。90歳の方は104歳まで頑張っていたかかないと乗れませんのでよろしくお願いします。

来年、ラグビーワールドカップがあるのですが、アフリカのナミビアのチームが町田でキャンプを張ります。ナミビアと言えば私はナミブ砂漠しか知らないのですけれども、本当に砂漠の国なのです。南アフリカは一番南にあります、その北側の国です。そのチームはアフリカで南アフリカに続いて2番目に強いチームですので、期待をしてください。

今度はオリンピックですが、パラバドミントンのキャンプはインドネシアのチームが来ます。これは決まりました。それから、パラではなくて健常者の空手の合宿もインドネシアが来ます。今、一生懸命誘致しているのが、ちょっと話題に出ました南アフリカの7人制ラグビーのチーム、オリンピックは15人ではなくて7人制です。陸上、サッカーなどの誘致をしています。そ

れから、中国も町田の視察に来ています。中国だと何百人も来るので受け入れられるかどうか、そちらのほうが心配なのですが視察に来ています。

先ほど野津田公園の映像装置がありましたが、今、観客席の増設工事の実施設計をしている最中です。それから、スタジアムではないのですが、公園の区域をさらに広げようということで用地の取得をしています。昨日、FC町田ゼルビアが大分トリニータに勝ったので、もしかするとJ2で優勝するかもしれません。J1、J2、J3とカテゴリーが3つあるのですが、J2で優勝してしまうかもしれませんと言ったのは、J2で優勝しても観客席が足りないのでJ1に上がれないという結論が来ています。建設工事は来年の秋ぐらいになるので、来年も上がれないのかなと心配しています。

南町田駅の周りにグランベリーモールというのがありまして、あそこが来年の今ごろ、多分11月ぐらいに今までの倍ぐらいのサイズでオープンします。ここに子どもクラブきそっちと同じものが来年南町田にできます。それから、スヌーピーミュージアムと一緒にオープンする予定です。

子育てのほうで待機児童ですが、今年は146人、去年229人だったので大幅に減りました。来年の4月はゼロになる予定で契約しています。本当に4月になってゼロになるかわかりません。昔、選挙の前にゼロになりますと公約で言って、300人ぐらいになってしまったことがあるので余り信用できないのですが、一応来年はゼロということで整備しています。

先ほど熱中症の話がありました。ほとんどの都道府県はエアコンが小中学校にありません。東京都は例外的にエアコンが入っているのです。高知、愛媛はエアコンが入っている教室が1割、2割です。あり過ぎるくらいたくさんあるのですが、エアコンを入れていないのです。本市は貧乏なのにエアコンを入れていきます。エアコンは全部終わりましたし、トイレも全部終わりました。そういう意味では、教育はないお財布をはたいてでもエアコンをやっていますし、トイレもやりました。

最後に、特別養護老人ホームの整備です。この間、90人定員のグランハート悠々園ができて、市内で大きなものはあれでおしまいですが、あとは小さいのでやっていきますが、去年の調査で申し込んでから1年以内に入った人は約9割です。つまり、約90%の人は申し込んでから1年以内に入っているのです。9年前だと45%ですから、ここは大幅に改善されていると思います。これも東京都内では例外的な市です。都内はほとんど介護難民と言われていてどうしようもないのですが、町田市は介護が案外充実していると思います。

《質疑》

住宅供給公社木曽団地自治会

以前、薬師池の手前のゴルフ練習場跡に道の駅ができるという話を伺った気がするのです。この間、木曽地区連合会のウォーキング大会がありまして、

その帰途に道筋を通ったわけですが、看板が出ていたのです。立ち寄ることはできなかったのですが、その後どうなっているのかご案内をいただきたいと思います。

町田市長

ここで契約が終わりましたので現場に入ります。現場に入って、第1回目の外構工事、駐車場をつくったり、建物ではないものは来年3月までにやることになっています。その後、2019年度に建物、トイレ、休憩所、カフェ等をつくることになっていまして、一応2020年3月までに完成することになります。ただし、駐車場が無料でない道と駅と言えないのです。うちの場合は公園の中で、公園の中の駐車場は1時間を過ぎると有料になってしまうので、国土交通省の決まりで道の駅と言えないのです。道路を通る人の休憩のための施設なので、そこが有料はだめだと認定していただけないので、道の駅もどきと言っているのです。横文字でウェルカムゲートという舌をかみそうなものを今つくっています。あと1年半ぐらいで道の駅もどきがオープンします。

○閉会の挨拶（連合会副会長）

長時間にわたりまして本当にお疲れさまでした。また本日は、市側より、石阪市長を初め各部長さん、また関係者の皆さん、お忙しい中本当にありがとうございました。

また、地域の皆さんについては、毎年行っております市政懇談会ですけれども、すぐ答えが出て解決ができたということはなかなか難しいことが続いておりますけれども、各要望について市側からいろいろな説明がありました。そういう内容がありますので、各町内会あるいは自治会に帰りまして、会員の皆さんに今日の懇談会の内容をお話ししていただければありがたいと思っております。

本当に長時間にわたりありがとうございました。これで閉会といたします。お疲れさまです。（拍手）

以上